



山都町立矢部小学校 学校だより

自分らしく ~Be Unique~

矢部小HP

令和6年7月1日（月）

第14号

2次元コード ← カラー閲覧できます 校長 池部 聖吾智(みわとも)

A blurry photograph showing several people standing in a hallway. Some are wearing white shirts, suggesting a medical or laboratory setting. The background shows large windows and doors.

本会は、地域代表や本校職員22名の会員で組織します。今回（6/28）は規約の確認、協議会の目的確認、学校経営方針の承認・共有が今回の主な内容でした。

会では、自己紹介、学校からの説明の後、質疑・意見交換を行いました。地元会員の方からは、児童の学力・体力面からの質問や意見が出されました。会員の方たちの小学校時代の話題も出され、様々な面で状況が変わっていることを実感されたようです。

校長からは、「校区が広くなつて地域との縁が疎遠になることだけは避けたい。今年は、地域の人的資源を調査して人材バンクをつくりたい」と、会員の方へ協力をお願ひしました。※HPのPRもしておきました！

また、この日は授業参観日。会の後半には、子どもたちの様子を参観していました。

「地域とともににある学校」 第1回学校支援協議会開催

教育講演会報道

「大人も知らないスマホの秘密」

高校 氏

これまでいろんな方の話を聴いてきましたが、今回ほど説得力があり、「自身も真剣にコントロールしないといけないな」と思えた話は初めてでした。 氏が関わったきた生徒の話、家族みんなでリセッタプログラムに取り組んだことで、子どものみなならず自身の健康等にもプラスになった話は、参観されていましたご家庭の方にも響いたのではないでしょうか。話の後半で、氏が校長に「校長先生も取り組まれませんか?」と振られ、私は「難しいです! HPもやってますので」と答えました(苦笑)。校長(私の場合、町校長会会長でもあるので特に)は、危機管理の面から常に24時間体制(メール・LINE)でデジタルデトックス(距離を置く)が難しい立場にあります。でも「コントロール」は可能です。「スマホ・ゲームをやめたら、学力アップ・部活動での大活躍・問題行動が激減した」という事実は衝撃でした。ご家庭でも、ぜひ取り組んでいただけたらと思います!

矢部抄

先週末も夕方から熊本市内へ出かけた。かつての同僚と飲むためである。開始前に書店に行つた▼日ごろは図書館使用がほとんどだが、書店にいけば最新情報を目にすることだけ立ち読みした。今私の足りないとこを指摘してくれ「禅」に関する書籍をほんの少しじっくり読み込んでみたい▼その後会場へ移動。かつての同僚さんが採用試験に合格し、この4月から管外の中学校に正式採用された。その祝いも兼ね、いろいろ話を聞くかと企画した▼話も盛り上がり、さんの職員室の席の話になり、さんと同学年に、私と縁のある人がやら多いことがわかつた。ほどんどが私の元同僚、しかも同じ学年を担当したことのある方だった。さらに息子の中学校時の担任の名前も出てきた。「そのメンバーで呑むのもいいね」という話になつた。実現するかなあ?